化学物質を取り扱う作業のリスクアセスメント

纮 丰文	元方管理者		作成者		
統責者	ルカ官垤日		TF八日		
		作成口	午	н	

リスク低減対策 (リスク評価の高い3~5項目)

				更用材料 カルシウム 糸重金属不溶化 吸着剤 RE-1型			周知会参加者				
使用	を 用 業 者 株式会社 廣野組			メー カ ー							
便用	使用場所 敷地			種 類 土壌用改良剤			実施日				
作業	F 業 内 容 地盤改良			使用期間 平成30年10月〇日~平成30年	11月0日	1	年	月	1		
		危険有害性	危険有害性 区分	GHS 絵表示	注意喚起	危険有害性情報	①危険有害 性等の大きさ	②可能性又 は作業環境	③リスク評価 ①+②	④優先度 危険度)	危
	1			爆弾爆発	危険	爆発物	6				
			1	炎		極めて可燃性/引火性の高いガス	6				
危険性	(2)	可燃性 引火性ガス	2	_	警告	可燃性/引火性の高いガス	2				
			1			極めて引火性の高い液体及び蒸気	6				
		71 1.1d 5+44	2	3 <u>警告</u> 4 — 答 告 目	引火性の高い液体および蒸気	4					
	(3)	引火性液体	3		恭 4	引火性の液体および蒸気	2				
			4		普古	可燃性液体	1				
		二烯州田什	1		危険	可燃性固体	4				
	④ 可燃性固体		2	炎	警告	可燃性固体	1				
	⑤	支燃性 酸化性ガス	1	炎上の炎	危険	発火又は火災助長のおそれ、酸化性物質	4				
	6	高圧ガス	圧縮、液化、溶解	高圧ガス	警告	熱すると爆発のおそれ	2				
			1,2	どくろ	危険	飲み込むと生命に危険	6				
	⑦ 急性毒性 経口)	3	C 1/2	心灰	飲み込むと有毒	4					
		4	感嘆符	警告	飲み込むと有害	2					
			5	_	三日	飲み込むと有害のおそれ	1				
			1,2	どくろ	危険	皮膚に接触すると生命に危険	6				
	<u>(8)</u>	急性毒性 経皮)	3			皮膚に接触すると有毒	4				
	•	心压毋压 证从/	4	感嘆符	警告	皮膚に接触すると有害	2				
			5	_		皮膚に接触すると有害のおそれ	1				1
		⑨ 急性毒性 吸入)− 気体、蒸気、粉じん、ミスト	1,2	 どくろ 危険	危険	吸入すると生命に危険	6				
			3			吸入すると有毒	4				;
			4	感嘆符	警告	吸入すると有害	2				
			5			吸入すると有害のおそれ	1				1
			1 A, B, C		危険	重篤な皮膚の薬傷、眼の損傷	5				
	(10)	皮膚腐食性及び刺激性	2	<u> </u>	皮膚刺激	2					
			3	— —		軽度の皮膚刺激	2				
	(11)	眼に対する重篤な損傷性	1	腐食性	危険	重篤な眼の損傷	5]
١.		または眼刺激性	2 A	感嘆符	警告	強い眼刺激	3				2
有宝	10	或可见民族作业	2 B	— ***		眼刺激	1		ļ		3
		呼吸器感作性 皮膚感作性	1	健康有害性		吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難のおそれ	3				4
II	(13)	及胃恐作注	1 1 0	感嘆符		アレルキー性皮膚反応を起こすおそれ 遺伝性疾患のおそれ	4				
	14)	生殖細胞変異原性	1 A, B	健康有害性		遺伝性疾患のおそれの疑い	2				6
						遺伝性疾患のあてれの疑い 発がんのおそれ	5				-
	15)	発がん性	1 A, B	健康有害性		発がんのおそれの疑い	2				Ī
			1 A, B			生殖能または胎児への悪影響のおそれ	4				
	(16)	生殖毒性	2	健康有害性	有害性	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い	2				1 F
	U)	工程每任					2				
			1		6 除	飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ	5				1 F
	11)	吸引性呼吸器有害性	2	健康有害性		飲み込み、気道に侵入すると有害のおそれ	1				
			1		6 降	臓器の障害	5				1
	(18)	特定標的臓器 全身毒性	2	健康有害性		臓器の障害のおそれ	4				
		単回ば〈露)	3	_+	警告	気道刺激性)呼吸器への刺激のおそれ	2				-
			3	┦ 感嘆符 ┃	麻酔作用)眠気またはめまいのおそれ	2				<u> </u>	
	(19)	特定標的臓器 全身毒性	1	/# # * * * * * * * * * * * * * * * * * *	6 降	長期または反復ば〈露による臓器の障害	5				ľ
		反復ば〈露)	2	健康有害性		長期または反復ば〈露による臓器の障害のおそれ	4				
l	20	その他									
	L										
		水生環境有害性	1	環境		強い毒性	2				
境		- 急性、慢性	2,3,4	垛児	I —	毒性、有害、注意	1			1	

※ 一般的なリスク低減策

日

危険有害性

危険性- 火気持込禁止、火気使用禁止、可燃物の撤去、消火器の設置、立入禁止措置、… 有害性- 呼吸用保護具、保護メガネ、保護衣服、換気設備、防毒マスク、立入禁止措置、 有機溶剤作業主任者の配置、・・・・・

リスクアセスメント作成要領

- 1. 安全データシート SDS) にて使用する材料の危険有害性の区分を確認する。
- 2. 同一作業で2種類以上の材料を使用する場合は、危険有害性のレベルが高い方の数値を使用する。
- 3. 表-1を参考にし、危険有害性が発生する可能性または作業環境レベル②を記入する。
- 4. ①危険・有害性等の大きさと、②可能性または作業環境レベルを足してリスク評価③を記入する。
- 5.. 表-2をもとに優先度 危険度)④を決め、危険有害性についてリスク低減措置を検討する。
- 6. リスクの低減措置の検討は、優先度の高い順に3~5項目を実施する。

分類基準に該当しない

表-1 ②危険有害性の可能性、作業環境等判断基準

	20 1	②尼次 自日 E O 可能 E C F 不成先 中 自固 至 F				
	1	可能性が極めて高い	屋内 換気無)、作業時間:長期間、			
	4	り形はか煙めて高い	1回の使用量 超多量=紛体10ton 液体10m3			
	3 可能性が高い		屋内 換気有)、作業時間:1日程度、			
	J	り形圧が同い	1回の使用量:多量=紛体ton 液体m3			
	2 可能性がある	屋外 遮蔽有)、作業時間:半日程度、				
		山田江がめる	1回の使用量 :中量=紛体kg ·液体ℓ			
	1 17 1.7 159 4-1 4515	屋外 遮蔽無)、作業時間;短時間、				
	1 ほとんど発生しない		1回の使用量・小量=紛休 α・液休m0			

表-2 ④優先度 危険度)

_							
高		10~ 7	直ちにリスク低減対策を検討し措置を講じる。 措置を講じるまでは、作業を行わない。				
	中	6~ 3	当該リスクを確認し、一般的なリスク低減措置を実施する。 必要に応じて、その他低減策を検討する。				
	低	2~ 1	当該リスクおよび取扱い・作業上の留意事項を関係者全員に周知徹底する。				